

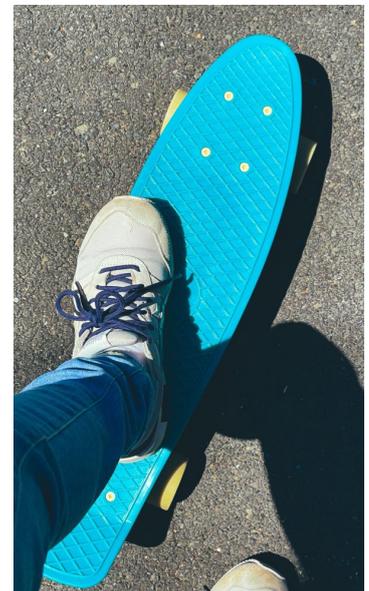
12 2024

船井情報科学振興財団
第一回報告書
宮武茉莉



はじめに

今年の8月から UC Berkeley Mechanical Engineering Ph.D. 課程に進学しました、宮武茉莉です。7月末に渡米してから平日はよく働き土日はよく遊び、あっという間に5ヶ月目。我が道を貫くテキトー厚かましめ自由人なので日本よりアメリカの方が性格的にあってるんじゃないかというくらい生き生きと渡米生活を楽しんでおります。



左上／坂道&路面電車&観光客というカオスなサンフランシスコを駆け巡る自動運転タクシー Waymo。右上／ Google SF オフィスから見たベイブリッジ。左下／ Menlo Park にある Meta オフィス。右下／アメリカでやりたかったことランキング 1 位スケボ。

渡米

嬉しいことに渡米直前に日本で結婚しました！なので慌てて結婚フォトを撮りに行ったり、お互いの家族や親戚にご挨拶に行ったり、友達を呼んでカジュアル結婚パーティーをしたり。超バタバタでしたが、この人生の転機に会いたい人みんなに会えて、一緒に日本の美味しいものを食べ尽くせてとても幸せな時間を過ごすことができました。

渡米直前の手続き

- 4月 I-20 申請
- 5月 家確定
DS160 申請
ビザ申請料・SEVIS 費用支払
ビザ面接予約
- 6月 ワクチン接種
渡米航空券予約
ビザ面接・受け取り完了
- 7月 引越し準備
各種手続き（郵便・住民票・保険・年金など）
渡米

渡米時の荷物

スーツケース 2 個とバックパック 1 個に詰め込みました。炊飯器とキャンプ道具は段ボールに詰めて発送したら 1 週間ほどで届きました。

持ってきてよかったもの

- 薬とコンタクトレンズ *渡米直後は病院に行く余裕なし*
- ドライヤーとヘアアイロン *初日から必要なので持っていくと楽*
- 日本包丁セット *これがないと寿司は握れない*
- 卵焼き用のフライパン *お弁当に卵焼きあるとほっとする*
- 炊いた米を冷凍する容器 *忙しいので一気に炊いて冷凍*
- お弁当箱 *好きなお弁当箱で気分上げたい*
- キャンプ用のランタン *急に停電した時に大活躍した*

持ってこなくて後悔したもの

- 秋冬の長袖服 *思ったより寒いぞパークレー*

持ってこなかったしアメリカで買える範囲で満足しているもの

- シャンプーなどの消耗品 *cosme kitchen にあるやつ売ってる*
- 調味料 *日本スーパーに行けば大体手に入る*

パークレーでの生活

衣食住

カリフォルニア暑そう、というイメージで夏服メインに持ってきたのですが、想像以上に涼しいです。夏の間もあまり暑くならず、日本の春くらいの過ごしやすい天気が続きました。毎朝起きるたびに明るい空を見て春うらら〜気分で一日のスタートを切れるのは精神的にとってもプラスに働いています。

とはいえ夏でも日が沈むとかなり冷えるし、11月頃からは最低気温が10℃を下回るようになったので、もっと長袖の服を持ってきておけばよかったなと後悔しながらパークレーにあるユニクロに駆け込みました。

日本だとパジャマに分類されるタイプの服で外出している人がたくさんいます。最初は、みんなもっとおしゃれしようよーと思っていましたが、気づけば自分もTシャツかパーカーにジーパン。締切前はもはや上下スウェット。なんて弱い人間なんでしょう、すぐに順応してしまいました。

でも自分が大学パーカーを着てアメリカに染まりすぎている写真を見て一度ショックを受けて反省し、サンフランシスコのクリエイターイベントに行ってアーティストの素敵な服やものを買って美意識を取り戻しました。時々おしゃれするのも大事ですね。それからは休日にストリートマーケットとかをぶらぶらして、推しブランドを発掘するのを楽しんでいます。



左/サンフランシスコで開催されていたクリエイターイベント RENEGADE craft。
右/陶芸・アパレル・アクセサリー・フードなどスモールビジネスのクリエイターでいっぱい。海沿いにあるので外に出るとヨットがたくさん見えて景色も最高。

バークレーでの生活

衣食住

バークレーは想像以上にアジアでした。近くにある Berkeley Bowl や Tokyo Fish Market に行けば日本の食品が手に入るし、中華系スーパー 99 Ranch には日本の化粧水まで売っているし、サンフランシスコのジャパントウン、南のサンノゼまでドライブすれば2大日本スーパー、Mitsuwa と Osaka Market で日本のものがたくさん売られています。もちろん日本で買うよりは高いですが、自炊すれば結構なんでも和食が作れてしまいます。



バイエリア超ざっくりマップ。

外食に関しては、バークレーのキャンパス周辺にレストランやカフェが並んでいて賑わっています。すぐ南のオークランドは治安は悪いですが、いい感じのワインバーやブルワリーがあったり、サンフランシスコに行けば素敵なレストランもあるし、北に1時間ドライブすればワインで有名なナパがあります。9月にラボ同期を誘って知人のワイナリーへぶどうを収穫してワイン作りをお手伝いしに行ったのはいい思い出になりました。スーパーにもローカルのワインやクラフトビールがたくさん売られているのでお酒好きな人は絶対楽しめる場所だと思います。

ただ、外食は高いので基本は週に1,2回まとめて自炊して、ランチはお弁当に詰めて持参しています。ラボの他のメンバーも大体みんなタッパーに詰めて持ってきています。忙しくて料理を作れなかった時は中華系ベーカリーで惣菜パンや菓子パンを買って安く済ませています。日本と似ているラインナップで安心感のある味だけどちょっと知らない要素があって気に入っています。



好評だったラーメンミールキット。友人からいただいた麺に合わせて白湯と煮干しスープの2種。低温調理チャーシューや香味油、醤油ダレも自作。

友人と集まる時は持ち寄りパーティー (potluck) 率が高いです。自分の誕生日には日本人の先輩たちに寿司を握ったり、Thanksgiving には研究室のパーティー用に7kg 超えのターキーをオーブンで3時間かけて焼いたり、そのターキーのがらで4時間ぼこぼこ出汁をとって白湯スープを作ってラーメンミールキットにしてラボのメンバーに配ったり、時々ガチ料理を楽しんでいます。



パークレーでの生活

衣食住

治安の悪さがとても心配だったのですが、意外とすぐ慣れました。確かに大学のキャンパスを出てすぐ南側はホームレスの人たちが道で寝ていたり何かを叫び続けている人がいたりしますが、目を合わせずに歩き続ければ基本大丈夫です。もちろん危なそうなエリアを夜1人で歩くのはやめたほうがいいですが、研究室のあるキャンパス北側や自分の家の周辺エリアはあまり怪しげな人がいないので夜も歩いています。住むならバス停の近くや夜も街灯で明るい大通り近くがおすすめです。

周辺の公共交通機関はパークレーの学生なら無料でバスに乗れるのでありがたいです。バスや電車を使えば結構遠くまで行けますし日常生活には困りませんが、本数がそこまで多くなかったり乗り継ぎが悪かったりして遊ぶには車が欲しいなあと感じていました。そんなタイミングで船井財団奨学生の大先輩がヨーロッパに移住するので無料で誰かに車プレゼントします宣言をされて、真っ先に手を挙げたら他の先輩とライバルになり、免許を早くとれた方が車獲得という熱い戦いになりました。速攻で仮免の勉強をして試験を予約して、インストラクターのレッスンを数回受けてから本試験に無事合格して1ヶ月でカリフォルニアの免許を取得し、車もいただくことができました。

しかし悲しいことに車をもらって1週間でサイドミラーを何者かに破壊されました。仕方なくAmazonで安いサイドミラーを購入しYoutubeで修理動画を見ながら自分でドアを分解して修理したところ、メカとしての車に愛着が湧いてきて、色々デバイスをつけてアップグレードし、週末は高確率でドライブを楽しんでいます。日本ではほぼ運転してなかったのですが、気づけばあっさりアメリカに染まっていました。



左／駐車中に破壊されたサイドミラー。
右／Amazonで購入したサイドミラー。
アメリカに来たことを実感。DIY力大事。

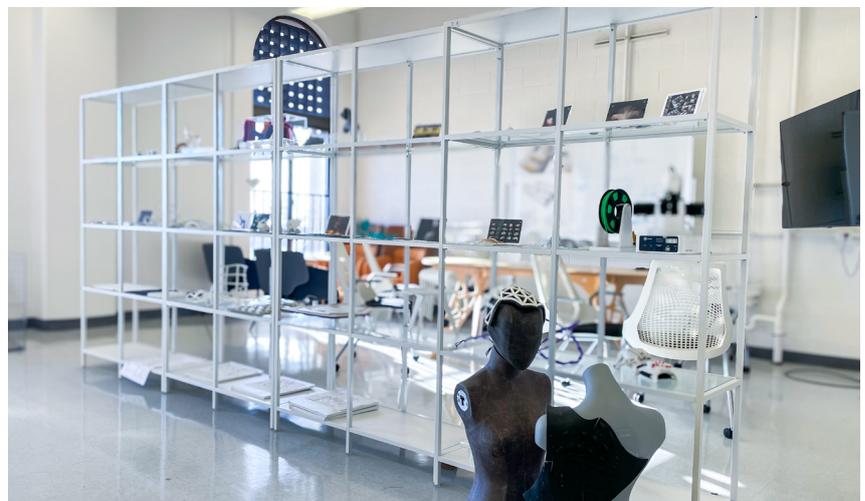
博士課程生活

研究室

全てが最高です。PIは中国出身の女性の先生で、私生活では赤ちゃんを育てながら、新しく入ってきた Ph.D. 学生 5 人それぞれと毎週 1on1 で手厚く指導してくださり馬力がすごいです。またチームとして強くなるように少しずつ違う分野のポスドクが雇われているので、自分の知らない新しい知識や技術を学べる環境になっています。先生は研究者でありながら、リーダーでもあり起業家精神もありデザイナーでもありメンターでもあり、人として心から尊敬できるロールモデルです。

また、ラボのメンバーもみんな優秀で勤勉かついいやつです。週末にみんなで買い物に行ったり、パークレーのレストランを開拓したり、ハイキングに行ったり、持ち寄りパーティーをしたり、仲が良くてとてもいい雰囲気です。食をテーマに研究しているのは私だけですが、興味の近い人が集まっているので、色々と試行錯誤しながら他のメンバーにこんなのできた!と見せに行くと喋っているうちにアイデアが広がる、自分の得意なことが重宝されて自然とチームに入ってた、というような私が研究室という場に求めていた現象が起きていて最高です。おかげで渡米して 1 ヶ月で共著で論文を提出することができました。(まだ結果は分かりませんが)

研究室のメンバーはたまたま全員ネイティブスピーカーではないので、英語がゆっくりめでありがたいです。発音や文法がちょっと間違っているけど内容が伝われば no problem!! という雰囲気なので安心して毎日お喋りに花を咲かせています。



左上 / HCI 分野の研究室合同で開催された Berkeley Tangibles Tea Party。
左下 / CMU から今年引っ越してきたラボなので、毎週金曜日に 1 時間みんなで DIY して 12 月ついに wet lab も完成。右 / 日差しが差し込むホワイトな研究室。

博士課程生活

授業

Mechanical Engineering 学科は授業の必須単位が多くてきついです。3年間は毎学期必ず授業を2個取らないといけないペースなので、研究できる時間が思ったより少ないです。しかも専攻科目のGPAが3.5を下回ってはいけなく結構なプレッシャー。(下回ったらどうなるんだろう...) 授業2個と聞くと全然余裕じゃんと思うかもしれませんが、東大の授業よりもはるかに課題が多くて重いので、3個以上とると研究と両立できなくなるというような感じです。

ME280

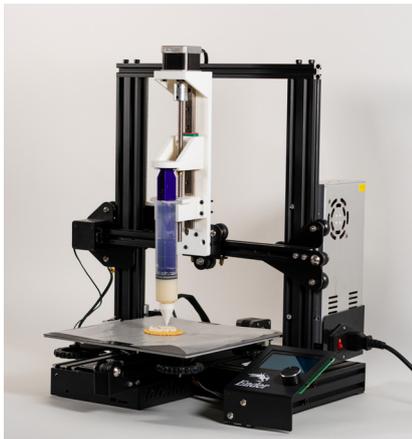
Introduction to the Finite Element Method

1つ目の有限要素法の授業では最初数学関連の英語を全く知らないのもありきつかったですが、教科書をAIに読み込ませてパーソナルメンターにしながらなんとか理解しました。隔週で出る課題も毎回重くて1人だと多分脱落していましたが、ラボ同期5人全員で履修したので締切前は毎回みんなでわちゃわちゃ教え合いながら乗り切りました。

ME226

The Science and Engineering of Cooking

2つ目のCookingの授業は対照的で、学部4年生がchillしにきている授業でした。3回目の講義でいきなり、はいじゃあ4人くらいのグループ作って毎週誰かの家でみんなで料理作って実験してレポート出してねーと言われて焦りましたが、優しそうなお女子たちのグループに無事入れました。授業は約半分がゲスト講義で、ローカルのレストランのシェフやフードテックスタートアップの方が来られていて、自分の興味とぴったりで楽しめました。特に、培養魚のスタートアップWildtypeの共同創業者の方の講義が面白かったので、授業後一番に質問しに行ったところ、共通の友人がいて仲良くなり、直接お願いしてサンフランシスコのオフィスを見学させていただきました。起業にも興味がある自分にとって、バイエリアの企業にさくっと行けるパークレーの立地は最高だなと実感しました。



上/授業の最終プロジェクトで開発したFrosting Printer。下/クッキーの上アイシングをするデモも無事成功。

この授業の最終プロジェクトは進捗が遅すぎて前日にみんなで徹夜作業をしてぎりぎりDIYフード3Dプリンタを実装し終わりました。なんとか発表日のデモもうまくいって最終レポートも満点をとることができたので、グループのみなさんでお祝いホームパーティーをしました。日本の味代表として肉じゃがを作って持っていったら”Oh my god! This is so delicious!!”とってもらえたのでよかったです。まさかのしらたきにはまった人がいました。ご飯の後は教えてもらったスラングを早速活用しながらみんなで夜までマリオパーティーをしてアメリカの大学生ライフを感じることができました。

おわりに

アメリカ適性

アメリカは合う人と合わない人が分かれると思いますが、自分は日本にいる時よりも気が楽になって居心地よく感じています。昔から空気を読むのが苦手で、日本人同士の暗黙のルールみたいなのがぱっとわからず違うことをしてしまって白い目で見られる、みたいなことがあったのですが、アメリカはいろんな国からいろんな人が来ているので、共通の常識があまりなく、なんかあるなら言えっていう雑なスタイルが自分にとって楽です。ちょっとミスしても nobody cares!

決められたことを決められた期限までにやるのは苦手だし、その割に自分の興味のあることはやりすぎて空回りするし、和を重んじて思ったこと我慢するのはできないし、もらえるもんはもらっとこうスタイルで厚かましいと言われるし、日本だと欠陥だらけの人間ですが、アメリカだとそういった欠点が目立たなくなるというかむしろ長所になることもあり、なんだか前よりも伸び伸びと過ごしています。

根強い人気の 日本ブランド



キャンパス内ホールでのオーケストラによるジブリメドレーは全席完売。

日本の雰囲気には文句を言ってしまうましたが、アメリカで日本カルチャーや日本製品が根強い人気を誇っているおかげで日本人キャラとして得をしています。寿司やラーメンをはじめとした和食はみんな大好きだし、アニメやゲームも強いし、キャラクターのグッズもよく売られているし、車やカメラは日本製が多いし、旅行先としても人気が高いし、周りになぜか日本語を勉強している人が何人もいます。これだけ日本ブランドが人気で「日本語を勉強しているから日本人と喋りたい!」とか「日本人と一緒に Izakaya に行きたい!」とか需要が高いのに、留学生の数は中国・韓国と比べて圧倒的に少ないのでかなり美味しいポジションにいます。なのでみなさんぜひアメリカに留学しましょう!

今回の報告書では渡米準備・衣食住・研究・授業などいろいろ書きましたが、尊敬できる PI・興味がぴったりの研究室・仲の良い同期・ベイエリアという立地・毎日元気に活動できる天気、といった自分が成長できる環境が完全に整っているので5年間頑張っていきます!

前回の報告書で少し書いた通り、渡米前の2年間は心の奥底に暗いものがある状態でしたが、自分が求めていた場所、認められる場所に来てやっとなんとスッキリと晴れた感覚があります。このような素晴らしい環境に今自分がいるのは船井情報科学振興財団からのご支援のおかげです。改めて心より感謝申し上げます。